



発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第358号

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

主とともにこれをささげましょう マヘル神父

2月26日に白浜司教様が、典礼研修会のため小倉教会に来られ、講話をされました。講話が終わってから質問に入った時、一人の人が典礼(ミサ)は儀式か?という質問して、祈りと儀式の違いや、愛の業であるミサについてお話をされました。

日本人は、儀式で礼儀に正しいことで集中してしまうので、祈りの精神を失う恐れがあるのではないだろうか?

司教様はこのように、答えてくださいました。ミサの中で司祭と信者のこのような対話が4回あります。

司祭「主は皆さんと共に」会衆「また司祭と共に」

ミサの初め、福音を読む前に、叙唱前句、ミサの最後の派遣の祝福の前にと4回あります。

今から参加する式に神様も参加して私達の祈りを一緒にしてくださいませ。私達の今行う典礼をキリストによって、キリストと共に、キリストの内に行われています。その精神で御ミサに参加していただいたら、只の儀式にはなりません。御父の神様のすべての誉れと栄光となります。

私としてはまだまだ、多くの事をミサについて話したいのですが、先月のからしだねに書いたように、御ミサに参加するために洗礼

の時に頂いた司祭職の使命を又、勧めていきたいと思えます。

【信徒の召命と使命】引用

イエスは神の栄光と人類の救いの為、十字架上で、ご自分を捧げ、今なお感謝の祭儀においてご自分を捧げ続けています。信徒はまさにキリストのこの祭司としての使命に参与しています。洗礼を受けている者は、イエス・キリストと一つになった者として、自分自身と日々の活動を捧げることによって、イエス・キリストとその犠牲に結ばれるのです。(ローマ12・1-2参照)信徒について語りながら、第二バチカン公会議はこう宣言しています。「すべての仕事、祈り、信徒的活動、結婚生活、家庭生活、日々の労苦、心身の休養を聖霊において行い、なお、生活のわずらわしさを忍耐強く耐え忍ぶならば、これらのすべてはイエス・キリストを通して神に魅せられる霊的いけにえとなり、(一ペトロ2・5参照)御ミサにおいて、主の体の奉獻と共に父に捧げられる。このように信徒も

「ユスト高山右近」を読んで	・ 2・3面
小教区委員会報告	・ 4面
「ミサと生活」	・ 5面
お花を生ける会	・ 6面
教皇のツイッター	・ 7面
お知らせ・教会学校	・ 8面

また、聖なる行いをもって神に礼拝を捧げる者として、世そのものを神に奉獻するのである。

【信徒の召命と使命】引用

皆さん典礼において最も大切な聖週間の典礼に是非参加しましょう。また少し早いのですが、復活祭おめでとうございます。

「ユスト高山右近」を読んで

赤間地区 矢田 公美

2月7日列福された高山右近について、古巣警神父による書籍を基に伝えます。

右近が洗礼を受けたのは10才の時、父高山飛騨守がロレンソとの宗教論議の末に入信し、その後、母マリア、兄弟姉妹、家臣150人が共に受洗しました。21才で父ダリオ飛騨守から高槻城主を継ぐことになったユスト右近には、それに先立って、和田惟長との一騎打ちで生死の境をさまよう試練がありました。

ルイス・フロイスによれば、ザビエルの後継者フランシスコ・カブラルは、カテキズムを中心とした教えより、日々の暮らしの中で働くいつくしみの神と出会う福音を、高槻で朝から晩まで何日にもわたって伝え続けたと言います。『神の身分でありながら、自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じものになられたキリスト』武力で競い合う下克上の時代に「降りてこられた神」の福音は右近にとって光に撃たれたような衝撃となり、最初の回心となります。

城主を右近に譲り隠居した父ダリオの生き方もまた右近に影響を与えました。領内に聖堂を作り、教理の勉強や洗礼の準備にあたり、祈りを教えました。戦で死者が出れば遺族の面倒を見、貧しいキリシタンがひっそり

と亡くなったときはダリオと右近が丁寧に葬儀を行いました。高槻の領民は、領主が無縁者の棺に寄り添って歩く姿を目の当たりにしたのです。当時ラテン語の「愛」には、「ご大切」という日本語が当てられ、キリスト者とは何よりもまず、神を大切にすること、神を大切にすることは隣人を自分のことのように思う事。「誰がこの人の隣人になったと思うか、その人を助けた人です。行って、あなたも同じ様にしなさい」(ルカ10・36～37)高山父子にとって、キリスト者とは慈悲の所作をそのまま行う人で、高槻領内に福祉施設「ミゼリコルディアの組」が創設されダリオと右近は先陣を切って働きました。

次の試練は荒木村重事件でした。当時摂津一帯を治めていた、高山父子にとっては主君にあたる村重が信長に対して謀反を企てました。信長は京都と大坂の要衝に位置する高槻を攻めようとして使者を送り、謀反者村重に与すれば、キリシタンの信仰を禁じると伝えました。右近は、村重への忠誠のしるしに妹と長男を人質として差し出していたので、信長に従えば妹と長男は村重に殺される。村重につけば信長は教会を破壊し神父や信者、家臣とその家族をすべて殺される事になります。窮地に立たされた右近は、城内の聖堂

に家臣とその家族を集めて心を一つにして祈りました。やがて右近は聖堂を出ると、大小の刀を捨てて剃髪し、巡礼者のように白装束をまとい、家臣たちに別れをつげ、靈的指導者であったオルガンティーノと2人で信長のもとに向かいました。結局、一滴の血を流すことなく高槻城を信長に明け渡しました。父ダリオ飛騨守は開城に反対で、村重の有岡城に入り人質もろとも死を決意していました。

一切を捨てて、余生は神と人ともに仕えて生きたいと申し出た右近に対し、信長は、右近を忠義者としてそれまでの二倍を加領して、四万石の高槻領主として再び登用しました。

信長は村重に加担した父ダリオを打ち首にするように命じましたが、身代わりを申し出た右近の必死の助命でダリオは、越前の柴田勝家に罪人預けの身となりました。老いたダリオの罪人扱いを不憫に思った勝家が領内での自由を与えると、ダリオは追放の地、北庄で「越前の使徒」となりました。迫害や困難による移動先で福音が述べ伝えられることができたのです。

本能寺の変の後、天下の覇権争いが再燃し、秀吉の天下となりました。この頃すなわち1580年、高槻の信者数は14000人、聖堂は領内20箇所と記録されたそうです。秀吉は四国九州を平定すると朝鮮、中国へ進出する野望を持ちました。1586年イエズス会準管区長コエリヨは、秀吉に厚遇され、中国進出計画を知らされると、ポルトガル人から大型軍用船2隻を世話することを提案し

ました。右近は、秀吉が宣教師が政治や戦いに口出しすることを嫌っていたことを知っており、危惧しました。秀吉は、右近始め大友宗麟、有馬晴信など有力な大名がキリシタンに改宗し、信者数も24万人と広がっていることに不安を抱き、1587年7月伴天連追放令を出しました。右近は棄教を迫られましたが応じなかったため、高槻から移封されていた明石の領地を没収され、身分財産を失い漂泊の身となりました。家族とともに加賀の前田利家のもとに預けの身として送られ、26年を過ごしました。追放で送られた先で福音を宣べ伝え、信者は増え教会が出来ました。

次いで天下人となった家康は、キリシタン弾圧を強化。越前、能登で宣教活動をしていた右近および妻と娘、病死した長男ジョアン夫婦の子5人は、冬の金沢から陸路徒歩で大坂へ、さらに船で長崎に送られました。フィリピンに向けたジャンク船には350人がすし詰め状態で出航しました。

高山右近は、血を流す殉教による証しでなく、大名の地位を奪われ流浪の人となり、度重なる棄教の脅迫にも信仰を生き抜く証し人となりました。右近の、誘惑に負けず試練に耐え支え合う生き方は現代の私達に通じるものがあります。



委員会等報告

2017年3月分

3月度小教区委員会

3月5日

1. 行事予定

- ・ 4月9日(日)枝の主日
小教区委員会 10:50~12:00
- ・ 4月13日(木) 聖木曜日 ミサ 19:30
- ・ 4月14日(金) 聖金曜日 ミサ 19:30
- ・ 4月15日(土) 聖土曜日 ミサ 19:30
- ・ 4月16日(日) 復活祭 ミサ 10:00

2. 議事

(1) 地区集会を開催します。

3-4月に随時実施予定。

小教区一致のための祈りをつくりました。地区集会で唱えて下さい。司祭館移設を含め、教会のこれからの姿、ビジョンの意見、アイデア、水巻聖母幼稚園と共に歩むあり方について、皆で考え、意見を出し合っていきましょう。

(2) アンケートへの協力をお願いします。 締め切りは3月26日です。個人別に回答ください。(世帯ごとではありません。)

小教区委員会規約、水巻教会役員選出規定もお配りしています。どのような規定に基づいて小教区委員会が運営されているのか、ご理解ください。

(3) 巡礼旅行

① 巡礼旅行(GW実施)の参加者、追加募集します。人数(定員)に空きあります。
→ 追加、キャンセルは3月26日(日)までを締め切りとする。

② 子供参加の場合は半額とします。差額は小教区会計からの補填とする。

③ 実行委員会の発足委員長:田中拓、委員:川島、松尾、会計/旅行先:福田
参加者からの旅費徴収は教会会計/岩崎が担当する。

(4) 熊本地震募金

水巻教会として募金箱設置は一旦3月末で終了します。

但し、熊本地震ボランティア活動は継続します。ボランティアの前の週に募金を都度呼びかけさせていただきます。今後ともボランティア活動、募金、物資支援に協力をお願いいたします。

(5) 地震保険加入について

地震保険の加入について検討しました。
地震保険は 保険金額1億円で保険料187,780円/年
保険金額3000万円で、保険料158,660円/年と大差なし。

現在加入している火災保険の保険料は143,010円/年。

火災保険、地震保険合わせると330,790円/年にもなり、負担が大きくなることから地震保険加入は見送ることしました。



北九州信徒協 典礼研修会 (2月16日 小倉教会)

「ミサと生活」 広島教区 白濱満司教様 (第1回)

広島教区司教となり、幟町教会司祭館と一緒にいるカトリック会館の4Fに居室を頂きましたが、私の居室の隣で、最も奥まった場所はチャペル。この配置をうれしく思っています。テレビを大きくつけたら、イエス様に聞こえ失礼かと(会衆=笑)。これによっても、祈りと生活を1つにしていけないといけないと思う気持ちが生じます。

ミサと生活とはどういう関係か?冬になると思い出される事があります。2005年に新聞に福岡県の方が寄稿された記事です。白いコートを着た女の人を含む旅の途中の3人の青年が、夜、自宅を訪れ、懐中電灯を貸してくれと言う。空地で空き缶に頭を突っ込んだ瀕死の猫が居たとのこと。ついて、彼らは猫を動物病院まで連れてゆき、缶を外してもらった。もとの公園に猫を戻してから、キャットフードを置いて、「明日の朝にはよろしくお願いします」と言って、立ち去って行った。後に公園に出てみると、先の女の人白いコートを猫のために置かれ、その上に猫を寝かせていた。寒い冬に自分の着るコートがなくてもそれよりも猫を大切にした、若者たちの感動の話がまず、語られました。

三位一体の神様が、私達のためにしてくださっていることは、この若者たちの温情から比喩的に分かって下さい。しかし私達には、霊的なことがあまり見えてない。今日の福音朗読に「神と富に両方は仕えられない。」とありました。私達は目が見えています、神のことを、永遠の命を忘れます。

神は御ひとり子を遣わして、私達を救った。イエス様は、私たちのために食べもの、飲み物を残して下さい。心だけでなく、体も一緒に、復活、永遠の幸せにあずかることができる様にして下さいました。

カンタラメッサという方が、次のことを書かれました。

これは私の体である=イエスの全生涯を表す(十字架、復活された体である事のみならず、全生涯。人間となり、成長され、大人となられた全生涯)

これは私の血である=これはイエスの死を意味する(命をささげて下さったイエスの全生涯のその死)。総じて、体と血。これにより全生涯を貫く愛。全生涯をかけた働き。

ミサはこういう様に命をかけたイエス様の祈りです。その目的は何か?全生涯を掛けたイエス様が祈りをささげられた内容「祈りの意向」は、「私が天から降ってきたのは、私をお遣わしになった方の御心を行うため。その御心は、私に与えて下さった人を一人も失わないで復活させることです。」(ヨハネ6章、一部省略)

(来月も続けて紹介します。)



グループ紹介
お花を生ける会

川島幸子



お花を生ける会の紹介を致します。現在メンバーは7名で、3班に分かれ、毎週土曜日（都合の悪い日には他の曜日にする事もあります）に、聖堂、納骨堂、トイレにお花を生けています。

聖堂では毎週主日のミサのためだけでなく、結婚式など聖堂で行われる行事、式典などのお花も生けています。その他、枝の主日のための枝の洗浄、クリスマスの馬小屋の飾りつけ等も受け持っています。

教会から毎月、お花代を頂いていますが、なるべく教会に負担をかけないように、自分達の庭で育てたお花や野原や山林から花材を調達する事もあります。予算から余ったお金はそのままお返ししています。

お花を生けるに当たって心構えとしているのは、主日のお花は、ただ聖堂を飾る会場花として立派にきれいに飾ろうとしているではありません。お花を飾るのは感謝の祭儀に参加されている共同体の皆さんの美しい心をお花に託して、神様に奉納する意味があると知り、心を込めて生けています。そのため、毎週、新しい心で感謝の祭儀にあずかれるように、お花も新しいものに生けかえます。時折、毎週お花を飾るのは大変だから鉢花でもいいのではないかという意見がありますが、新しい心でミサに参加される皆さんの心を表す奉納物としては感心できないと思っています。

納骨堂に献花する時、私達より先に召された方々に挨拶します。すると返事が返ってきたような気がする時があり、不思議な気持ちになります。

結婚式の準備は、お花の買い出し、生け込み、後かたづけで3日間に及びますが、結婚される方々の幸せを喜びながら生けています。このようにして、たくさんの方々が関わっていただけるのは幸せな事だと思っています。このような思いで、メンバーの方々は奉仕の精神と責任感を持って、取り組んでおられます。



3月1日(灰の水曜日)の教皇様のツイッター：

(本文)

Where Lent Comes From What It Has To Do With Religious Freedom

(It wasn't always abstaining from chocolate.)

Lent, the 40-day Christian season of fasting and repentance leading
Up to Easter, began Wednesday, It's a tradition that harkens back
to Jesus's 40 day of fasting in the desert. But Lent as we know it
Today didn't exist in the early of church. and it only came to
be thanks to growing acceptance of Christianity toward the end of the
Roman Empire.

(日本語訳) **四旬節の由来は？
それは信仰の自由とどういう関係があるのか**

(それはチョコレート絶つことだけを意味するのではない)

キリスト者の断食と悔い改めの時期である四旬節は、灰の水曜日に始まり、復活へと導かれます。

伝統的に、四旬節は、イエスの「40日間の荒れ野の断食」を想起して生じました。しかし、四旬節は初代教会には存在しなかったことが、今日、知られています。その存在はローマ帝国末期(紀元前4世紀)に、キリスト教が受け入れられるようになってからのことです。

広報委員会より 今後もこのような記事を見つけたら、掲載します。ご期待ください。

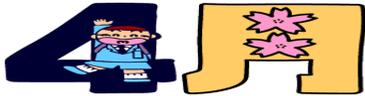
水巻聖母幼稚園からの4月のお知らせ

いつも皆様のお祈りに感謝いたします。2017年度も宜しくお願い致します！

始園式 4月5日(水) 10時～

入園式 4月8日(土) 10時～11時半頃

どうぞ、今年度もお祈りください。
これからも教会と共に神さまのお恵みの中で、子ども達に仕えていきたいと思っております。



★聖週間のお知らせ★

- 9日(日)(受難の主日) 9時30分より
- 13日(木)(聖木曜日) 19時30分より
- 14日(金)(聖金曜日) 19時30分より
- 15日(土)(復活徹夜祭)19時30分より
- 16日(日)(復活の主日)10時より

★神学生★

4月2日より、長崎教区の青田憲司神学生が、水巻教に司牧実習に来られます。
この日はミサ後に、歓迎会をします。

★教会のホームページ★

水巻教会のホームページを、少し変更しました。まだ、ホームページをご覧になったことがない方は、この機会に是非ご覧ください。

また、パソコン用のホームページの他に、スマートフォン用のホームページも作っています。アドレスは同じです。

★幼稚園のお知らせ★

今月号はお休みします。



教会学校のページ



2月26日

出席者 山田 蓮さん

- 福音(マタイ 6.26~34)を聖書で聞き読みしました
- 異邦人(ここでは 真の神を知らない人の意味)
義→救いと同じ意味。お互い助け合って生きるという事を学びました。
- 最後にアヴェ・マリアの祈りをしました。

3月12日

出席者 山田 蓮さん

- 福音(マタイ 17.1~9)を聖書で聞き読みしました。
- 豊田神父様、エリック助祭のお祝いカードを書きました。

